



平成21年1月30日

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

上場会社名 日本写真印刷株式会社 上場取引所 東証一部・大証一部  
 コード番号 7915 URL <http://www.nissha.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 兼 最高経営責任者 (氏名)鈴木順也  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 兼 常務執行役員管理本部長 (氏名)高橋 勝 TEL (075)811-8111  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績 (平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	100,275	—	17,511	—	16,149	—	9,497	—
20年3月期第3四半期	73,642	11.6	12,399	△0.1	13,182	1.3	8,737	10.1

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第3四半期	219	64	—	—
20年3月期第3四半期	202	04	—	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭	
21年3月期第3四半期	160,896	—	85,480	—	53.1	1,976	62	
20年3月期	142,357	—	82,245	—	57.8	1,901	87	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 85,466百万円 20年3月期 82,240百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
20年3月期	—	—	20 00	—	25 00	45 00
21年3月期	—	—	22 50	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	22 50	—	45 00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	123,000	21.0	14,000	△16.5	12,500	△19.8	7,500	△27.0	173	46

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 一社(社名 ) 除外 一社(社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
 [(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有  
 ② ①以外の変更 : 無  
 [(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

## (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	45,029,493株	20年3月期	45,029,493株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	1,790,917株	20年3月期	1,787,339株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	43,239,876株	20年3月期第3四半期	43,244,266株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成しておりますので、今後の不確定な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるグローバル経済情勢は、米国に端を発した金融危機の影響により消費や生産が落ち込み、当第3四半期以降、グローバルベースで景気後退が急激に進行しました。また、円高の影響により企業収益の悪化が顕著となるなど、極めて厳しい状況で推移しました。

こうしたグローバル経済情勢は、当社の製品が多く使われているコンシューマー・エレクトロニクス市場にも強い影響を与えました。当第2四半期まで堅調に推移していたパソコン、携帯電話向けの需要は、第3四半期からグローバルベースで急速に減少し、生産調整や受注減少などの深刻化により、市場環境は悪化しました。

このような厳しい市場環境のもと、当社グループでは第二次中期経営計画を完全達成するため、市場ニーズ・お客さまニーズを的確にとらえ競争優位性が高い技術・製品の開発を加速させ、積極的な設備投資による生産能力の増強を図り、グローバル市場における受注確保へ向けて着実な営業活動を展開しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、当第3四半期は落ち込んだものの、当第2四半期累計期間まで順調に推移したことから、売上高は1,002億75百万円(前年同期比36.2%増)、利益面では営業利益は175億11百万円(前年同期比41.2%増)、経常利益は161億49百万円(前年同期比22.5%増)、当第3四半期純利益は94億97百万円(前年同期比8.7%増)となりました。

部門別の概況は次のとおりであります。

## 産業資材部門

産業資材部門では、プラスチック製品への印刷を行うための加飾フィルムが主要製品となっています。当第3四半期前半は、引き続きデザイン重視のトレンドが進むノートパソコン向けの旺盛な需要により堅調に推移しました。第3四半期後半は、ノートパソコン、携帯電話向けの需要がグローバルベースで急激に減少し、円高による影響が加わりました。それらの結果、当第3四半期累計期間の連結売上高は559億59百万円となり、前年同期比で29.2%増加しました。

## 電子部門

電子部門では、携帯電話や携帯ゲーム機などのディスプレイ部に用いられるタッチパネルが主要製品となっています。当第3四半期では、デザイン性が高く製品の薄型化を実現したタッチウインドウ(抵抗膜方式)ならびにキャパシティブセンサー(静電容量方式)への需要がグローバル規模で拡大しました。また、ゲーム機向けタッチパネルの需要も堅調に推移しました。それらの結果、当第3四半期累計期間の連結売上高は256億44百万円となり、前年同期比で121.8%増と大幅に伸長しました。

## 印刷情報部門

印刷情報部門では、厳しい市場環境のなか、高精度な印刷品質を特徴として積極的なソリューション提案による受注獲得に努めましたが、当第3四半期累計期間の連結売上高は186億71百万円となり、前年同期比で0.4%減少しました。

## 部門別売上高

区分	前第3四半期連結累計期間 (19/4～19/12)		当第3四半期連結累計期間 (20/4～20/12)		増減	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	前年同期比(%)
産業資材部門	43,322	58.8	55,959	55.8	12,636	29.2
電子部門	11,564	15.7	25,644	25.6	14,080	121.8
印刷情報部門	18,755	25.5	18,671	18.6	△84	△0.4
計	73,642	100.0	100,275	100.0	26,633	36.2

(注) 当連結会計年度より四半期連結財務諸表規則を適用しているため、前年同期業績及び増減率については参考として記載しております。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は1,608億96百万円となり前期末(平成20年3月期末)に比べ185億38百万円増加しました。

流動資産は847億19百万円となり前期末に比べ119億7百万円増加しました。主な要因は、売上高の伸長に伴い現金及び預金が64億20百万円増加したこと等によるものです。

固定資産は761億76百万円となり前期末に比べ66億31百万円増加しました。主な要因は、設備投資により有形固定資産が118億54百万円増加したこと等によるものです。

当第3四半期末における負債は754億15百万円となり前期末に比べ153億2百万円増加しました。

流動負債は564億38百万円となり前期末に比べ170億56百万円増加しました。主な要因は、短期借入金が102億67百万円増加したこと、支払手形及び買掛金が88億64百万円増加したこと等によるものです。

固定負債は189億77百万円となり前期末に比べ17億53百万円減少しました。主な要因は、その他に含まれる繰延税金負債が19億98百万円減少したこと等によるものです。

当第3四半期末における純資産は854億80百万円となり前期末に比べ32億35百万円増加しました。主な要因は、当第3四半期純利益を94億97百万円計上したことにより利益剰余金が増加したことによるものです。

### キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における連結ベースの現金同等物(以下「資金」という)は、前期末に比べ、64億61百万円増加し、当第3四半期末には294億円となりました。

当第3四半期末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は145億15百万円となりました。これは主に当第3四半期連結累計期間に税金等調整前四半期純利益を161億34百万円計上したこと、仕入債務が101億58百万円増加したこと等によるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は124億77百万円となりました。これは主に当第3四半期連結累計期間に有形及び無形固定資産の取得として165億30百万円を支出する一方、有価証券及び投資有価証券の償還により44億7百万円の収入を計上したこと等によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は50億94百万円となりました。これは短期借入金により104億31百万円の資金を得る一方、社債の償還により30億円、配当金の支払により19億43百万円の支出を計上したこと等によるものです。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、最近の業績動向や景況感を踏まえて見直しを行った結果、平成20年10月23日に公表した業績予想を修正しております。

詳細は平成21年1月23日付で別途開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(会計基準等の改正に伴う変更)

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として個別法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間から「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として個別法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

この結果、従来の方法に比べて売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ6億68百万円減少しております。

③ 第1四半期連結会計期間から「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	30,430	24,010
受取手形及び売掛金	30,739	27,869
有価証券	705	3,703
商品	0	1
製品	6,876	3,595
原材料	2,447	1,706
仕掛品	8,059	8,395
繰延税金資産	1,785	1,474
その他	3,838	2,315
貸倒引当金	△163	△258
流動資産合計	84,719	72,812
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,749	12,601
機械装置及び運搬具（純額）	21,100	11,900
工具、器具及び備品（純額）	2,193	2,140
土地	6,445	6,567
建設仮勘定	1,636	6,061
有形固定資産合計	51,125	39,271
無形固定資産		
のれん	248	292
その他	1,980	987
無形固定資産合計	2,228	1,279
投資その他の資産		
投資有価証券	16,180	23,002
その他	7,287	6,387
貸倒引当金	△645	△395
投資その他の資産合計	22,822	28,994
固定資産合計	76,176	69,545
資産合計	160,896	142,357

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,311	18,447
短期借入金	12,382	2,115
1年内償還予定の社債	—	3,000
未払法人税等	3,500	3,507
賞与引当金	884	1,612
役員賞与引当金	67	90
設備関係支払手形	8,218	5,314
その他	4,073	5,293
流動負債合計	56,438	39,382
固定負債		
社債	7,000	7,000
長期借入金	545	360
退職給付引当金	6,678	6,527
その他	4,753	6,842
固定負債合計	18,977	20,730
負債合計	75,415	60,112
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,684	5,684
資本剰余金	7,355	7,354
利益剰余金	67,900	60,456
自己株式	△2,308	△2,289
株主資本合計	78,631	71,206
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,320	10,603
為替換算調整勘定	△486	431
評価・換算差額等合計	6,834	11,034
少数株主持分	14	4
純資産合計	85,480	82,245
負債純資産合計	160,896	142,357

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	100,275
売上原価	72,359
売上総利益	27,915
販売費及び一般管理費	10,404
営業利益	17,511
営業外収益	
受取利息	171
受取配当金	654
投資有価証券売却益	49
その他	166
営業外収益合計	1,042
営業外費用	
支払利息	122
投資有価証券評価損	456
為替差損	1,781
その他	44
営業外費用合計	2,403
経常利益	16,149
特別利益	
固定資産売却益	4
貸倒引当金戻入額	4
特別利益合計	9
特別損失	
固定資産除売却損	24
特別損失合計	24
税金等調整前四半期純利益	16,134
法人税等	6,636
少数株主利益	0
四半期純利益	9,497

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	16,134
減価償却費	5,422
のれん償却額	43
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△728
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△22
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	156
投資有価証券評価損益 (△は益)	456
投資有価証券売却損益 (△は益)	△49
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	172
受取利息及び受取配当金	△825
支払利息	122
為替差損益 (△は益)	111
固定資産除売却損益 (△は益)	19
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,115
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,889
仕入債務の増減額 (△は減少)	10,158
その他	△2,495
小計	20,670
利息及び配当金の受取額	823
利息の支払額	△107
法人税等の支払額	△6,871
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,515
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	1,596
定期預金の預入による支出	△1,555
有価証券の償還による収入	3,407
有形及び無形固定資産の取得による支出	△16,530
有形及び無形固定資産の売却による収入	45
投資有価証券の取得による支出	△725
投資有価証券の売却による収入	259
投資有価証券の償還による収入	1,000
貸付けによる支出	△93
貸付金の回収による収入	117
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,477
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	10,431
長期借入れによる収入	301
長期借入金の返済による支出	△685
社債の償還による支出	△3,000
自己株式の取得及び売却による収支	△18
配当金の支払額	△1,943
少数株主からの払込みによる収入	10
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,094
現金及び現金同等物に係る換算差額	△670
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,461
現金及び現金同等物の期首残高	22,938
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,400

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

当社グループは、一般的な印刷物の製造・販売並びに印刷技術の応用展開による特殊な印刷物及び関連機材の製造・販売を主な事業としております。全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める一セグメントの割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	合計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	94,818	12,998	6,946	114,763	(14,488)	100,275
営業利益	15,333	1,502	312	17,148	362	17,511

- (注) 1 国又は地域の区分方法は、地理的隣接度によっております。  
 2 日本以外の区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。  
 アジア：東アジア及び東南アジア諸国  
 その他：ヨーロッパ諸国及び米国その他

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	アジア	欧州	北米	計
I 海外売上高(百万円)	50,232	2,650	10,161	63,044
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	100,275
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	50.1	2.6	10.1	62.9

- (注) 1 国又は地域の区分方法は、地理的隣接度によっております。  
 2 各区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。  
 アジア：東アジア及び東南アジア諸国  
 欧州：ヨーロッパ諸国  
 北米：米国その他  
 3 海外売上高は当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域に対する売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(ご参考)

前年同四半期に係る連結財務諸表

(1)前第3四半期連結損益計算書

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
	金額(百万円)
I 売上高	73,642
II 売上原価	52,574
売上総利益	21,067
III 販売費及び一般管理費	8,668
営業利益	12,399
IV 営業外収益	
1. 受取利息	193
2. 受取配当金	371
3. 為替差益	140
4. その他	342
営業外収益合計	1,049
V 営業外費用	
1. 支払利息	130
2. その他	135
営業外費用合計	266
経常利益	13,182
VI 特別利益	
1. 固定資産売却益	198
2. 貸倒引当金戻入益	1,515
3. 役員退職慰労引当金戻入益	24
特別利益合計	1,739
VII 特別損失	
1. 固定資産除売却損	107
2. その他	10
特別損失合計	117
税金等調整前四半期純利益	14,803
法人税、住民税及び事業税	4,917
法人税等調整額	1,148
少数株主利益	0
四半期純利益	8,737

## (2) 前第3四半期連結キャッシュ・フロー計算書

区 分	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
	金額(百万円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	14,803
減価償却費	3,493
賞与引当金の増減額(減少:△)	△ 641
役員賞与引当金の増減額(減少:△)	△ 22
退職給付引当金の増減額(減少:△)	111
貸倒引当金の増減額(減少:△)	△ 1,517
受取利息及び受取配当金	△ 565
支払利息	130
為替差損益(差益:△)	△ 22
固定資産売却益	△ 192
固定資産除売却損	100
投資有価証券評価損	110
投資有価証券売却益	△ 150
売上債権の増減額(増加:△)	△ 1,405
たな卸資産の増減額(増加:△)	△ 2,082
仕入債務の増減額(減少:△)	174
その他	418
小計	12,741
利息及び配当金の受取額	590
利息の支払額	△ 106
法人税等の支払額	△ 6,168
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,056
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
現金同等物に含まれない預金等への支出	△ 29
有価証券の売却及び償還による収入	3,806
有形固定資産等の取得による支出	△ 7,920
有形固定資産等の売却による収入	295
投資有価証券の取得による支出	△ 112
投資有価証券の売却による収入	1,150
貸付金の実行による支出	△ 89
貸付金の回収による収入	683
その他	△ 527
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,743
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額(減少:△)	△ 437
長期借入による収入	1,002
長期借入金の返済による支出	△ 180
自己株式の取得及び売却による収支	△ 9
配当金の支払額	△ 1,857
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,482
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	△ 24
<b>V 現金及び現金同等物の増減額</b>	2,805
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	13,489
<b>VII 現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	16,295